

さとうみちこ

通信 第2号

2022年(令和4年)4月

たくさんの方に応援していただき
糸島市議会議員として、
スタートすることができました!

議員活動を始めて2か月。毎日が勉強です。市議会や議員の仕事について、少しでも知っていただきたいと思い、年4回の定例会の後には、ニュースレターを発行します。市政について、暮らしについて、一緒に考えるツールになればと思います。今後ともどうぞよろしくをお願いします。



【所属】
総務文教常任委員会
広報委員会

無所属・市民派

子育て 教育・人権 働き方 地域福祉 対話

さとうみちこ プロフィール

2022年より糸島市議会議員
1970年、北九州市門司区生まれ、門司高校、北九州市立大学卒
大学非常勤講師(国際福祉論、ボランティア論、ファシリテーション)、子育て支援の地域活動

議会報告

令和4年度

第1回 糸島市議会定例会(3月議会)

予算特別委員会 総務文教分科会でのさとうの質疑の一部を紹介します

1 安定ヨウ素剤配備事業

Q この事業で購入する安定ヨウ素剤は誰のためのものでどこに備蓄されていますか。

A UPZ圏外の住民のため。
3歳未満のお子さんのためのゼリー剤。
3,100人分、現在は市役所に備蓄。

Q お子さんが適切なタイミングで服用するためのプロセスは?

A 4月以降はコミュニティーセンターに配備予定。

さとうの視点

安定ヨウ素剤の備蓄を知らない人も多い。家族状況に合わせ活用できるよう、自分自身で考えておくことも大切だと思う。

質疑をした事業の内容紹介

学校生活支援事業

「糸島市子どもの居場所みなも」

糸島市に住む子どもたちのための居場所活動を行っています。一人一人が自由に過ごせる場所です。気になった人は一度来てみてください。

糸島市教育委員会からの委託で九州大学人間環境学府佐々木研究室が運営しています。(みなものホームページより)
毎週水曜日は小中学生の利用、木曜日・金曜日は保護者の相談日です。

[糸島市 みなも](#) で検索

2 広域連携プロジェクト事業「多文化共生事業」

Q 多文化共生のガイドブックを新たに作成したが、作成冊数、配布先、用途は?

A 外国人向けが600冊、
日本人住民向けが500冊。
広く配布するのではなく、講座やイベントで多文化共生に意識を持たれた方にまず読んでいただく。

Q 日本人向けガイドブック6ページに、外国人の困りごととして相談事が書いてある。これは実際に糸島で起きた事例? 実際の事例であれば、課題解決はできたの?

A 日本人市民に知っておいていただきたいものを有識者の委員会でピックアップした。事実かどうかは確認していない。解決はできていないものがあるから、市民の人に声をかけていただきたい。

さとうの視点

糸島市内には約1,300人の外国人が暮らしています。国籍は約60か国。生活上の困りごとは様々で、「やさしい日本語」だけでは解決しないこともある。私はイスラム教の妊婦さんから、産婦人科はどこがいいか聞かれたとき、「男性のお医者さんでもいいの?」と聞き返しました。国による出産方法の違い、検診や陣痛が起きてからの流れなど、アドバイスには私の出産経験が役に立ちました。当事者感や経験の共有はとても有効。気軽にサポートする人が増えたら、と思っています。

糸島市自主運行バス

駅やバス停から離れている公共交通が不便な地域を縮減するため、市内4校区(長糸校区、引津校区、一貴山校区、福吉校区)で実施。

校区外の方もご利用できます。利用料は無料ですので、ぜひ乗ってみてください!

[糸島市 自主運行バス](#) で検索

議会用語の紹介

一般質問と質疑の違い

一番最初に先輩議員から教えてもらったのがこの違いです。

【**質疑**】は議案に関する疑問点を質すもの。質疑は自分の意見を述べることができません。

【**一般質問**】は行政全般にわたって、首長の姿勢、方向性、方策などを質すもの。議員個人からの政策の提案も首長にその採否の考えを聞くという形でできます。

(参考:「地方議員のための役所を動かす質問のしかた」)